

平成30年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合B	単位数	3	年次	1
使用教科書	精選「国語総合」新訂版（大修館書店）						
副教材等	新版三訂 カラー版 新国語便覧（第一学習社） 新版カラー版 新国語便覧 準拠ノート 国語常識のトレーニング（第一学習社） 修訂版 記入してわかる やさしくくわしい古典文法ノート（尚文出版） チャレンジアップシリーズ国語総合問題ステージIβ（京都書房）						

1 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生では、古典学習の基礎になる古語の意味、古典文法、古典特有の表現法を身に付けます。 ・自ら考え、答え、発表し、また他者の発言を聞き、自身のノートにまとめられるようにします。 ・古文・漢文の文章を「読む能力」を向上させ、他者の発言を聞いたり、自らの解釈を発表したりするための「話す・聞く能力」や、わかりやすくノートにまとめ残すための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。 ・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、様々な古文・漢文に触れ、古典の世界の理解を深めます。また、登場人物の心情等を正しく理解しましょう。 ・予習として、本文を読み、ノートに自ら書き写しておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。 ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・古語に関して語彙力・文章力を高め、適切な文章理解ができる。 ・的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。 ・考え、理解したこと、また疑問に感じたことを適切に表現することができる。 ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。 ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。 ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育てている。
--

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの 評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、ノート)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材: 『枕草子』 「春はあけぼの」 「はしたなきもの」 『徒然草』 「つれづれなるままに」 「をりふしの移り変はるこそ」 文法等… いろはうた 歴史的仮名遣い 単語・文節・品詞 動詞の基本形	○	○	○	◎	○	a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a: 行動の観察 b: 行動の観察と確認及び分析 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	説話	教材: 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 『今昔物語集』 「阿蘇の史、盗人にあひてのがること」 文法等… 動詞の活用 (四段・上二段・上一段・下二段・下一段・カ変・ナ変・ラ変・サ変)	○	○	○	◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 b: 行動の観察と確認及び分析 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

2学期	漢文入門・物語	<p>教材： 漢文の学習 訓読に親しむ (一)(二)(三)</p> <p>句法等・・・ 訓点、書き下し文 代表的な助字・置き字・再読文字</p> <p>教材： 『伊勢物語』 「芥川」「筒井筒」</p> <p>『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」</p> <p>文法等・・・ 形容詞・形容動詞の活用 助動詞「き・けり・つ・ぬ・たり・り」 「ず」「なり」の意味と訳し方</p>	○	○	○	◎	○	<p>a:漢文・・・我が国の言語文化が中国等の文化を受容しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 古文・・・文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p> <p>b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。</p> <p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。</p> <p>d:漢文・・・文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 古文・・・文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。</p> <p>e:漢文・・・漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。 古文・・・古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>b:行動の観察と確認及び分析</p> <p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:小テスト及び定期考査:行動の観察及び記述の点検</p>
-----	---------	---	---	---	---	---	---	--	---

<p>故事成語・日記</p>	<p>教材： 故事成語 「借虎威」「朝三暮四」</p> <p>句法等… 訓点、助字・ 置き字・再読文字</p> <p>教材： 『土佐日記』 「門出」 『奥の細道』 「旅立ち」 「平泉」</p> <p>文法等… 助動詞「る・らる・ す・さす・しむ」 「む・むず」「べし」 の意味と訳し方</p>	○	○	○	◎	○	<p>a:漢文…我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。</p> <p>古文…人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。</p> <p>b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。</p> <p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。</p> <p>d:漢文…文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。</p> <p>古文…人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。</p> <p>e:漢文…漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。</p> <p>古文…古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>b:行動の観察と確認及び分析</p> <p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:小テスト及び定期考査</p>
----------------	--	---	---	---	---	---	--	--

3 学期	漢 詩 ・ 物 語	教材： 漢詩 「絶句」 「春望」 「香炉峰下、新ト 山居」 句法等… 漢詩の形式、対句						<p>a:漢文…考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。</p> <p>古文…文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>b:行動の観察と確認及び分析</p>
		教材： 軍記物語 『平家物語』 「木曾の最期」 文法等… 古典文法の復習	○	○	○	◎	○	<p>b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。</p> <p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。</p> <p>d:漢文…考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。</p> <p>古文…文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。</p> <p>e:漢文…漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。</p> <p>古文…古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いて書いている。</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:小テスト及び定期考査</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点をすべての単元に位置付けているが、単元内で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）の観点には◎を付している。